



建築設備技術遺産

認定第 11 号 平川ボイラ便覧

管理者:株式会社ヒラカワ

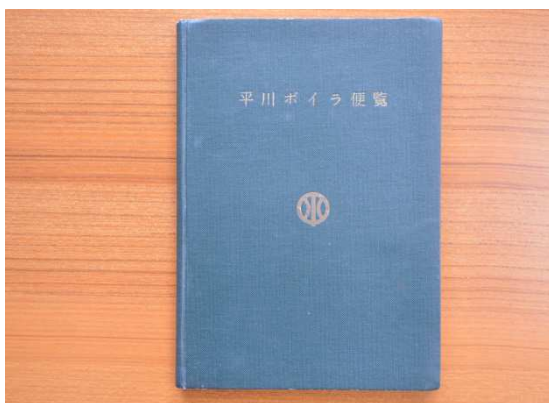
所有者:株式会社ヒラカワ

1953年に国産第1号の炉筒煙管ボイラを世に出した株式会社平川鉄工所(現在は株式会社ヒラカワ)が、ボイラ100缶突破記念として1957年に「平川ボイラ便覧」が出版された。当時全国の大学の機械系の学生に配布された。その後1971年に絶版になるまで改訂が繰り返され、長く空調・衛生設備の設計者、施工者に愛好されてきた。2012年には新たな新訂版が発行された。

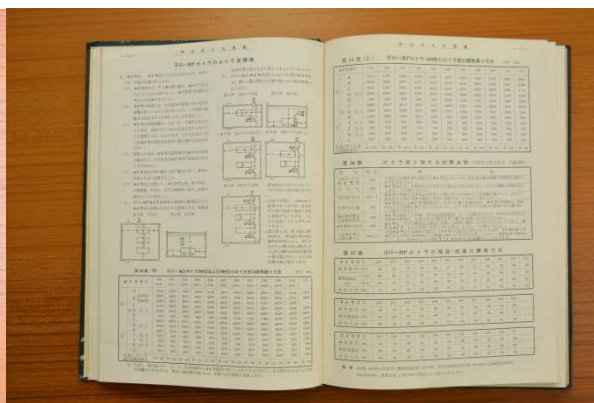
平川ボイラ便覧には、ボイラ設備の計画、煙道・煙突等のボイラ附属設備、燃料と燃焼に関する事項、水・空気・蒸気の性質、ボイラの構造、ボイラの工作に関する事項、据付工事、及び度量衡と単位換算について等、熱の伝達の理論的な内容からボイラの製作、据付等の実務的内容まで(全124ページ)、ボイラに関する広汎な内容が解り易く記述されている。

我が国の空気調和設備の黎明期に一企業が時代に先駆け教育的な学術書として、また実務書としてまとめたことは偉大な功績である。

初版本は、外見は色あせてはいるものの本体そのものはほとんど傷みがなく健全な状態で保存されている。「平川ボイラ便覧(初版本)」は、建築設備技術遺産として認定するに値するものである。



平川ボイラ便覧(表紙)



平川ボイラ便覧